

立命館大学アート・リサーチセンター

文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
2019年度 共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2020年 4月 23日 提出

1. 研究課題名	
「京都ニュース」の保存と活用プロジェクト (英文標記: “Kyoto News” preservation and utilization project)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
太田米男(おおたよねお)大阪芸術大学教授(2020年3月まで)	一般社団法人京都映画芸術文化研究所 代表理事(おもちゃ映画ミュージアム)
3. 研究分担者(合計: 6名)	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
竹田章作(たけだしょうさく)	立命館大学映像学部
日高由紀(ひだかゆき)	京都市総合企画局総合政策室市民協働推進コーディネーター
斎藤進也(さいとうしんや)	立命館大学映像学部
長谷憲一郎(はせけんいちろう)	京都大学大学院人間環境学研究科後期博士課程
宮本明子(みやもとあきこ)	同志社女子大学表象文化学部助教
太田文代(おおたふみよ)	一般社団法人京都映画芸術文化研究所(おもちゃ映画ミュージアム) 理事

4. 研究課題の概要(300字程度)(申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>1956年から1994年まで京都市広報局が制作し、市中の映画館で上映された「京都ニュース」。京都市歴史資料館に保管されている全244作品(全残存547巻)の画・音ネガ原版と、その原版からプリントされた16mm(約同数の上映プリント)が立命館大学アートリサーチセンターに委託保管されている。これらの内容を把握することで「京都ニュース」の全容を解明する。この映画のデジタル化は、現在1970年までの70本にとどまり、残り174本が未作業のままである。各号により4～5のトピックがあり、1200以上の題材が記録撮影されている。これらの映像は、高度成長期からバブル崩壊期まで、京都における市政活動や施策、都市開発による景観の変容、折々の世相や出来事、市民生活、祭事など、全容を把握することで、「京都学」の見地のみならず、各分野からの学術的なアプローチや研究素材としての価値が大きいと考えている。京都市による全ニュース映像のデジタル化に向けて、データベース化を進めることは重要な研究機会と考えている。今回の研究で、ARCに保管された16mmプリントからデジタル化し、欠落した10巻ほどを残し、すべての内容を把握するところまで進んでいる。その継続作業と調査を目的にしている。</p>
5. 研究成果の概要(この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

「京都ニュース」に関する調査は、京都市歴史資料館に所蔵している画・音ネガ原版の目視調査にはじまり、立命館大学アートリサーチセンター(ARC)所蔵の 16mmプリントで補う形で、研究設備・資源活用型研究として、「京都ニュース」の全容を調査する目的で共同研究を始めた。すでに初期の 70 作品は DVD 化され、歴史資料館に所蔵されており、それ以外の 174 作品が対象となった。

大量のフィルムであるため、各缶に貼られた缶票を基に、既存リストとの確認、缶票に書かれた内容とフィルムに記録された映像との照合を目的に、ARC のフィルムを中心に調査を始めた。16mmフィルムからの簡易テレシネ(デジタル化)を進め、内容把握も進んでいる。

一方、京都市は、フィルム保存を目的に、経年劣化した 35mmフィルムを「国立映画アーカイブ」に寄贈すべく、指定された専門のラボにフィルム調査を依頼した。しかし、この調査はフィルム本来の素材や劣化状態などの調査であって、各巻の内容については、本プロジェクトが担うことになる。本調査において、すでに内容把握しており、リスト化もできている。ARC のフィルムからデジタル化(簡易テレシネ)を随時行うことで、全容解明を進めている。現在のところ、全「京都ニュース」の 95%以上の詳細な内容が分かり、欠落したフィルムが数本のところまでできている。今回、同志社女子大の研究補助を得て、欠落した巻 35mmフィルム 5 巻の復元を行った。内容面では、完全に散逸したであろう 2 作品を残し、ほぼ網羅できた段階にまで来ている。ただ、紙資料残っていないため、音声部の採録など、今後、これらのソフトを公開するには、各巻の整理など人材的にも費用的にも、限界にきているというのが、現実である。

6. 研究業績

(1) 著書

・「名称」、単著・共著の別、発行年月、発行所、その他編者・著者名、担当頁数

(2) 論文

・「名称」、単著・共著の別、発行年月、発行所・発表雑誌・巻・号数、その他著者名、担当頁数、査読有無

(3) 研究発表等

・「発表題名」、発表年月、発表会議名、開催場所、その他発表者名、査読有無

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

・「会議名」、開催場所、年月、来場者数、共催等機関名

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

・研究業績名、発表場所等、期間

(6) 受賞学術賞

・授与機関名、受賞名、タイトル、受賞年月

(7) 科学研究費助成事業

・研究課題名、研究種目、開始年月－終了年月、役割(代表・分担)

(8) 競争的資金等(科研費を除く)

・研究課題名、資金制度・研究費名、開始年月－終了年月、役割(代表・分担)

(9) その他